

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をさがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合ひましょう。
- ③ ディボーションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

ディーゴ ガイド



2025.11.3-9

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合ひましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

3日 月曜

テモテⅡ



2:1 ですから、私の子よ、キリスト・イエスにある恵みによって強くなりなさい。

2:2 多くの証人たちの前で私から聞いたことを、ほかの人にも教える力のある信頼できる人たちに委ねなさい。

2:3 キリスト・イエスの立派な兵士として、私と苦しみをともしてください。

2:4 兵役についている人はだれも、日常生活のことに煩わされることはありません。ただ、兵を募った人を喜ばせようとしします。

2:5 また、競技をする人も、規定にしたがって競技をしなければ栄冠を得ることはできません。

2:6 労苦している農夫こそ、最初に収穫の分け前にあずかるべきです。

2:7 私が言っていることをよく考えなさい。主はすべてのことについて、理解する力をあなたに与えてくださいます。

2:8 イエス・キリストのことを心に留めていなさい。私が伝える福音によれば、この方は、ダビデの子孫として生まれ、死者の中からよみがえった方です。

2:9 この福音のために私は苦しみを受け、犯罪者のようにつながれています。しかし、神のことばはつながれていません。

2:10 ですから私はすべてのことを、選ばれた人たちのために耐え忍びます。彼らもまた、キリスト・イエスにある救いを、永遠の栄光とともに受けるようになるためです。

2:11 次のことばは真実です。「私たちが、キリストとともに死んだのなら、キリストとともに生きるようになる。」

2:12 耐え忍んでいるなら、キリストとともに

王となる。キリストを否むなら、キリストもまた、私たちを否まれる。

2:13 私たちが真実でなくても、キリストは常に真実である。ご自分を否むことができないからである。」

人が強くなるのは神様の恵みによります。神様から離れて自分で努力したつもりでも、それは本当の強さではありません。行き詰まってしまうでしょう。強さとは負けないことであり、あきらめないことですが、それは真の目的を持った人だけにあります。揺るぎない目的は主のためです。

パウロは兵士や競技者や農夫のことを引き合いに出して、労苦することの必要を説いています。喜び、栄冠、収穫の希望は神様が与えてくださるのです。そしてその希望を信じられるのは、神様の恵みを体験するからなのです。

「耐え忍んでいるなら、キリストとともに王鬼なる。」という通りです。主のための目的であったかと、もう一度確認して、主によって強められましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



4日 火曜

テモテⅡ



2:14 これらのことを人々に思い起こさせなさい。そして、何の益にもならず、聞いている人々を滅ぼすことになる、ことばについての論争などをしないように、神の御前で厳かに命じなさい。

2:15 あなたは務めにふさわしいと認められる人として、すなわち、真理のみことばをまっすぐに説き明かす、恥じることのない働き人として、自分を神に献げるように最善を尽くしなさい。

2:16 俗悪な無駄話を避けなさい。人々はそれによってますます不敬虔になり、

2:17 その人たちの話は悪性の腫れもののようになり広がります。彼らの中に、ヒメナイとピレトがいます。

2:18 彼らは真理から外れてしまい、復活はすでに起こったと言って、ある人たちの信仰をくづがえています。

2:19 しかし、神の堅固な土台は据えられていて、そこに次のような銘が刻まれています。「主はご自分に属する者を知っておられる。」また、「主の御名を呼ぶ者はみな、不義を離れよ。」

2:20 大きな家には、金や銀の器だけでなく、木や土の器もあります。ある物は尊いことに、ある物は卑しいことに用いられます。

2:21 ですから、だれでもこれらのことから離れて自分自身をきよめるなら、その人は尊いことに用いられる器となります。すなわち、聖なるものとされ、主人にとって役に立つもの、あらゆる良い働きに備えられたものとなるのです。

2:22 あなたは若いときの情欲を避け、きよい

心で主を呼び求める人たちとともに、義と信仰と愛と平和を追い求めなさい。

2:23 愚かで無知な議論は、それが争いのもとであることを知っているのですから、避けなさい。

2:24 主のしもべが争ってはいけません。むしろ、すべての人に優しくし、よく教え、よく忍耐し、

2:25 反対する人たちを柔和に教え導きなさい。神は、彼らに悔い改めの心を与えて、真理を悟らせてくださるかもしれません。

2:26 悪魔に捕らえられて思いのままにされている人々でも、目を覚まして、その罠を逃れるかもしれません。

「ことばについての論争」を避け、「努めにふさわしい」者となるために、自分をささげ、「俗悪な無駄話を避け」て、真理からはずれないようにしましょう。無駄話とは、ここでは人々を不敬虔にするような話のことです。

世の中の価値観、また成熟していない人の価値観では、論争に勝てる人は「努めにふさわしい」ように思われますがそれは違います。本当にふさわしい人は「まっすぐに説き明かす」人であり、イエスを「恥じることのない働き人」のことです。ことばで人に勝つよりも、このような純粋な者となって、神様の価値観で生きましょう。

また尊いことに用いられる器となりましょう。尊いというのは、きれいな仕事というわけではありません。また高級な仕事でもありません。それは神にとって「役に立つもの」ということです。この世の価値観ではなく、神様の価値観で自分の働きを尊いものとしてゆきましょう。

争わず柔和でありましょう。訓戒することも大切ですが、柔和な心によって「神」が「悔い改めの心を与えて真理を悟らせてくださる」ようにしましょう。決して自分が戦ってしまわないことで

す。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



5日 水曜

テモテⅡ



3:1 終わりの日には困難な時代が来ることを、承知していなさい。

3:2 そのときに人々は、自分だけを愛し、金銭を愛し、大言壮語し、高ぶり、神を冒し、両親に従わず、恩知らずで、汚れた者になります。

3:3 また、情け知らずで、人と和解せず、中傷し、自制できず、粗野で、善を好まない者になり、

3:4 人を裏切り、向こう見ずで、思い上がり、神よりも快樂を愛する者になり、

3:5 見かけは敬虔であっても、敬虔の力を否定する者になります。こういう人たちを避けなさい。

3:6 彼らの中には、家々に入り込み、愚かな女たちをたぶらかしている者たちがいます。その女たちは様々な欲望に引き回されて罪に罪を重ね、

3:7 いつも学んでいるのに、いつになっても真理を知ることができません。

3:8 たぶらかしている者たちは、ヤンネとヤンブレがモーセに逆らったように、真理に逆らっており、知性の腐った、信仰の失格者です。

3:9 しかし、彼らがこれ以上先に進むことはありません。彼らの愚かさ、あの二人の場合のように、すべての人にはっきり分かるからです。

パウロはテモテに、教会の人々への指導について具体的に書きましたが、それら地上の歩み方をよきものにするには、「終りの日」についての正しい知識が必要です。主の最終的なさばきのときには、善と悪、また信仰と反逆が明確になります。それに

よって主の正しさが鮮明になるのです。

ここにあるような言動をする人々が現れるということですから、それを見聞きしてもうろたえることは要りません。もしかしたら教会にそのような人が入り込んでくるかも知れません。教会がキリストの体であることを知って、キリストのために守ろうとする人は、「真理に逆らって」いる人から教会を守る必要も感じるでしょう。

聖書のみことばを日頃から学び、従い、また教会と主イエスを愛して、必要な時に必要な決断ができるような、信仰の勇者となりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



6日 木曜

テモテⅡ



3:10 しかしあなたは、私の教え、生き方、計画、信仰、寛容、愛、忍耐に、
3:11 また、アンティオキア、イコニオン、リステラで私に降りかかった迫害や苦難に、よくついて来てくれました。私はそのような迫害に耐えました。そして、主はそのすべてから私を救い出してくださいました。
3:12 キリスト・イエスにあって敬虔に生きようと願う者はみな、迫害を受けます。
3:13 悪い者たちや詐欺師たちは、だまされたり、だまされたりして、ますます悪に落ちて行きます。
3:14 けれどもあなたは、学んで確信したところにとどまっていなさい。あなたは自分がだれから学んだかを知っており、
3:15 また、自分が幼いころから聖書に親しんできたことも知っているからです。聖書はあなたに知恵を与えて、キリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることができます。
3:16 聖書はすべて神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。
3:17 神の人がすべての良い働きにふさわしく、十分に整えられた者となるためです。

クリスチャンに限らず、真理や正義に生きようとする人は、この世では苦しいことがあります。人の形が罪ゆえに壊れてしまっているからです。この世の正義でさえ、そのために犠牲を払って勝ち取ろうとする人が大勢います。まして永遠の命のため、永遠の価値のために犠牲を払うのは当然といえば当然のことです。

とはいえ初代教会の時代には、「迫害」があり、クリスチャンたちは猛獣の餌食にされたりしたので

すが、それでも多くの人々が天国の希望のゆえに信仰を守り通したのです。私たちもときには厳しい選択に迫られることがあるでしょう。苦しみを逃れるために、または成功を手に入れるために信仰から離れるか、それとも「だまされたり、だまされたりしながら、ますます悪に落ちて行く」ことをよしとしないで、信仰を守り続けるか…です。

日頃から小さなことでも主のみことを選び取っているなら、間違いに落ちることはないでしょう。小さなことに忠実な人は大きなことにも忠実…とあるように。そのような神様に忠実な人は聖書を読み、また神のことばである聖書に忠実です。生活、人生の目的、教会の在り方などなど、聖書にしっかりと聞いて歩んで行きましょう

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



7日 金曜

テモテⅡ



4:1 神の御前で、また、生きている人と死んだ人をさばかれるキリスト・イエスの御前で、その現れとその御国を思いながら、私は厳かに命じます。

4:2 みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。忍耐の限りを尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。

4:3 というのは、人々が健全な教えに耐えられなくなり、耳に心地よい話を聞こうと、自分の好みにしたがって自分たちのために教師を寄せ集め、

4:4 真理から耳を背け、作り話にそれに行くような時代になるからです。

4:5 けれども、あなたはどんな場合にも慎んで、苦難に耐え、伝道者の働きをなし、自分の務めを十分に果たしなさい。

4:6 私はすでに注ぎのささげ物となっています。私が世を去る時が来ました。

4:7 私は勇敢に戦い抜き、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通しました。

4:8 あとは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。その日には、正しいさばき主である主が、それを私に授けてくださいます。私だけでなく、主の現れを慕い求めている人には、だれにでも授けてくださるのです。

「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くても…」とあります。伝道など今は無理とか、教会に誘っても来ないと思う…などと言うのを聞くことが多いですが、それでも聖書に書いてあることを話題にすることはできるでしょう。

それも無理なら行動によって「みことばを宣べ伝える」ことはできます。つまりみことばを行うのです。実はそれが一番効果のある伝え方です。またイ

エス様の方法です。

パウロはテモテに「自分の好みに従って…教師を寄せ集め」て行くような時代になると言っています。いつの時代にもそのような異端は出現しますが、もしも私たちが聖書の教えを自分たちの都合で、取捨選択したり無視したり、または別の考えややり方ををするなら、同じことです。

パウロのように投獄されてでも、主の教えを曲げずにそのために生きた人によって、聖書は伝えられてきました。私たちもその担い手となることが主から求められているのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



8日 土曜

テモテⅡ



4:9 あなたは、何とかして早く私のところに来てください。

4:10 デマスは今の世を愛し、私を見捨ててテサロニケに行ってしまいました。また、クレスケンスはガラテヤに、テトスはダルマティアに行きました。

4:11 ルカだけが私とともにいます。マルコを伴って、一緒に来てください。彼は私の務めのために役に立つからです。

4:12 私はティキコをエベソに遣わしました。4:13 あなたが来るとき、トロアスでカルポのところに置いてきた外套を持って来てください。また書物、特に羊皮紙の物を持って来てください。

4:14 銅細工人のアレクサンドロが私をひどく苦しめました。その行いに応じて、主が彼に報いられます。

4:15 あなたも彼を警戒しなさい。彼は私たちのことばに激しく逆らったからです。

4:16 私の最初の弁明の際、だれも私を支持してくれず、みな私を見捨ててしまいました。どうか、その責任を彼らが負わせられることがありませんように。

4:17 しかし、主は私とともに立ち、私に力を与えてくださいました。それは、私を通してみことばが余すところなく宣べ伝えられ、すべての国の人々がみことばを聞くようになるためでした。こうして私は獅子の口から救い出されたのです。

4:18 主は私を、どんな悪しきわざからも救い出し、無事、天にある御国に入れてくださいます。主に栄光が世々限りなくありますように。アーメン。

4:19 プリスカとアキラによろしく。また、オネシポロの家族によろしく。

4:20 エラストはコリントにとどまり、病気のトロフィモはミレトスに残して来ました。

4:21 何とかして冬になる前に来てください。ユフロ、プデス、リノス、クラウディア、そしてすべての兄弟たちが、あなたによろしくと言っています。

4:22 主があなたの霊とともにいてくださいますように。恵みがあなたがたとともにありますように。

パウロは自分の死が近いことを感じて、何とも率直に書いているようです。テモテに頼みごとをして、彼に対する信頼を表わし、また信仰からそれた人のことも書いていますが、それはテモテに警戒を教えるためかもしれません。

そしてそのような中でパウロは最終的には「主は、私とともに立ち、私に力を与えてくださいました。」と、証しをしています。

私たちも自分がさらけ出されるような状況で、率直に語ってしまうようなときにも、最後は主を讃えて感謝するような者でありたいと思います。

正直な証し人になりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



9日 日曜

ヨシュア



1:1 【主】のしもべモーセの死後、【主】はモーセの従者、ヌンの子ヨシュアに告げられた。

1:2 「わたしのしもべモーセは死んだ。今、あなたとこの民はみな、立ってこのヨルダン川を渡り、わたしがイスラエルの子らに与えようとしている地に行け。

1:3 わたしがモーセに約束したとおり、あなたがたが足の裏で踏む場所はことごとく、すでにあなたがたに与えている。

1:4 あなたがたの領土は荒野からあのレバノン、そしてあの大河ユーフラテス川まで、ヒッタイト人の全土、日の入る方の大海までとなる。

1:5 あなたの一生の間、だれ一人としてあなたの前に立ちだかる者はいない。わたしはモーセとともにいたように、あなたとともにいる。わたしはあなたを見放さず、あなたを見捨てない。

1:6 強くあれ。雄々しくあれ。あなたはわたしが父祖たちに与えると誓った地を、この民に受け継がせなければならないからだ。

1:7 ただ強くあれ。雄々しくあれ。わたしのしもべモーセがあなたに命じた律法のすべてを守り行うためである。これを離れて、右にも左にもそれではならぬ。あなたが行くところどこでも、あなたが栄えるためである。

1:8 このみおしえの書をあなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさめ。そのうちに記されていることすべてを守り行うためである。そのとき、あなたは自分がすることで繁栄し、そのとき、あなたは栄えるからである。

1:9 わたしはあなたに命じたではないか。強

くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたが行くところどこでも、あなたの神、【主】があなたとともにおられるのだから。」

モーセという偉大な指導者を失ったことは、イスラエルにとって大きな不安に違いありません。しかし神様はあっさり、その事実を認めるようにイスラエルに迫ります。信仰者は主の導きの確かさを信じて、過去にこだわることなく前進する必要があります。

新しい地に行く前に、主はいくつかのことを命令なさいます。一つはヨルダン川を渡りなさいということです。当時はその水かさが多く、簡単に行き来できるような川ではありません。決心して前に進み、そこから後戻りできない状態で、主に従うかどうか問われています。

次には勝ち取りなさいということです。行きなさいといっても、そこには異教の民がいるのですから、戦わなければなりません。リスクを恐れずにチャレンジして、努力するのです。

最後には律法と守り行えということです。何のために勝利が約束されているのかというと、それは神様の栄光と勝利のためです。私たちの人生でいえば、主の愛と主の勝利、そして主の栄光は一つです。主に背いた者が主の栄光にあずかることはできません。

これから新しく前進する人も、すでに前進を始めている人も、これらのことを主の命令として、従いましょう。そしてヨシュアのように勝利をいただきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

